

平成 27 年第 3 回 日本救急医学会 男女共同参画推進特別委員会 議事録

日時：平成 27 年 6 月 25 日（木）10:00～12:00

場所：日本救急医学会事務所

出席：

委員長 畛本 恭子
委 員 阿南 英明
岡田 昌彦
木田 真紀
角 由佳
長谷 敦子
並木 淳
並木 みずほ
本多 ゆみえ

担当理事：田中 裕

欠席：

委 員 木村 昭夫
矢口 有乃

議事

1. 第 43 回総会・学術集会の企画について

- 1) ワークショップ 6 「きみは一生救急医を続けられるか」
 - 1) 冒頭の「若手医師アンケート結果分析」（本多先生担当）の結果について。
 - 男性回答者が多いにもかかわらず、「いいえ（続けられない）」が過半数という衝撃
 - 性別ごと、年齢（20～39 歳を 3 分割）ごとなどに解析して掘り下げて提示する。
 - 2) 司会の岡田先生、角先生に、演題評価表が総会事務局から送付されている。本委員会で演題採択。（セッション時間は 1 2 0 分）
 - アイデンティティなども重要だが、本委員会の立場としては男女の働き方の問題を軸としたディスカッションとなるよう採択する。
 - 12 題の応募のうち、指定演題扱いが 2 題（阿南先生、東京医大の先生）、残りの 10 演題から公募演題として 3 題採択。
 - その他、指定演題として、冒頭の本多先生のアンケート結果が 1 題、鳥取大学のワークライフバランスの取り組みに関する依頼予定が 1 題、木田先生の先進的取組に関するものが 1 題。

- 以上 計8題のワークショップとする。
 - 発表 10 分、質疑 2 分 壇上討論 20 分
- 3) 鳥取大学附属病院の取り組みについては、救急部の先生は現在いらっしやらないというこ
となので、改めて、鳥取大学付属病院 WLB 支援センター谷口美也子先生に依頼 (連絡
担当 畝本)
 - 4) 前回、提案された専門医制度関連の木村昭夫委員長からのコメントは、今回の主旨と異な
り、おそらく、専門医に関するセッションで議論されるので、割愛。
- 2) 今年 3 回目となる「ラウンジ」について
- 1) 名称：今年も「男性もはいる『女性ラウンジ』」とする。
 - 2) 昨年のアンケート結果から、以下の提案
 - 女性救急医の軌跡のスライドは参考になる、と好評。今年も行う。
 - 男性救急医のスライドも追加。特にイクメン経験のある方の実体験スライドを歓迎。
 - 上記の依頼は、コアメンバーになってもよいとメールアドレスを頂いた方々にむけて
メールで。(角先生担当)
 - トークショーや、相談コーナーなどのプログラムを組んでほしい、という声も多いた
め、今年は企画する。施設長フリートークなど
 - ラウンジの手伝いも昨年より増員。実際、来場者と話していると、2 人では不足。今
年は男性委員も。発表日時が出たころ、依頼をかける。(角先生)
 - 3) 場所の確認 (畝本)
 - 4) 昨年は、案内図には掲載していただいたが、企画としてのラウンジの記載はなかったので、
プログラム誌のカラー紙ページに、他の企画セミナーなどと同様に掲載していただけるよ
う依頼。
2. 男女共同参画のホームページについて
- 1) ホームページ作成、維持の費用や更新の難しさから、新たな立ち上げは見合わせる。
 - 2) 現在、日本救急医学会のホームページから本委員会バナーで開くページに、議事録等を掲載して
いるが、ここに、以前、提案された、『ホワイト施設』の案内や、ロールモデル紹介コーナーを
載せる。
 - 3) 学生、研修医が多数訪問するホームページや医局等で読まれる雑誌に、広告のような形で URL
等を掲載していただく。

という方向で進めることとなった。